神在小学校アピール作戦

①　神在地区をてらすあいさつ

　あいさつがあふれる神在小学校。 神在小学校の挨拶のモットーは、「日本一のあいさつ！」です。

その目標に向かって日々一人一人があいさつをがんばっています。

その中で、神在小学校ではあいさつが完ぺきにできる人にはあいさつ名人の印としてあいさつバッチが配られ、その人達を筆頭に毎日あいさつをがんばっています。

他にも、あいさつボランティア、あいさつ大使といった地域の方々や、中学校の人たちに校門に立ってもらいすべての児童が楽しくあいさつができる様々な取り組みを考えたり、行ったりしています。

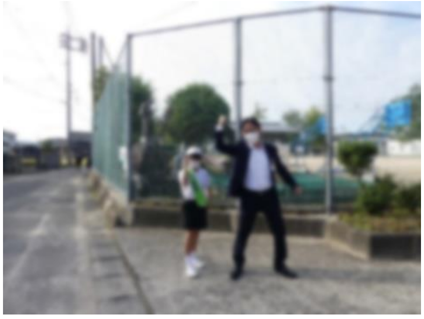
朝、学校に登校するときには登校班みんなで校門に立っている校長先生に大きな声で「校長先生、おはようございます」と気持ちがいいあいさつを毎日しています。

　朝一番に、校長先生と、全校みんながグータッチをして清々しい朝のスタートを切っています。登下校中に、いつもお世話になっている地域の人にあったときには、「〇〇さんおはようございます」と名前を読んであいさつをしたりと自分からあいさつをがんばっている児童が今、とても増えています。

あいさつがまだ恥ずかしくて難しい児童もいますが班長さんが一人一人に声をかけて、みんなが気持ちよくあいさつができるように毎日あいさつをしています。

このように、一人があいさつをがんばるのではなくみんなで一人一人が楽しく、気持ちが良いあいさつができる小学校です。

　全校児童が、お互いにあいさつし合い、あいさつがあふれる小学校を目指していきます。 これからもこのあいさつが受け継がれていけるような学校にしていきます。



②　　地域の和

　神在小学校では、地域の方や、神在幼ち園の子、他の学年と多くの関わりがあります。地域の方々は、朝の時間に読み聞かせに来てくださったり、ワクワクサポートという国語のプリントを解くときの、丸付けにきてくださったりします。そして、朝のあいさつを、校門の前に立って、明るい笑顔でしてくださいます。その事により、児童は地域の人と親しくなり、登下校の時、地域の人に積極的に名前を読んであいさつができるようになりました。

　そして、神在幼ち園の子とは、運動会などの行事や、ひなん訓練を一緒に行ったり、一緒に遊んだりすることもあります。さらに、神在幼ち園の子が招待してくれて、焼きいもを一緒に食べることもあります。そのため、小学校に入学する前から強いつながりができているのです。

　さらに他の学年との活動もたくさんあります。縦割り班（1～６年がまざってできた１２のグループ）があり、そのグループに別れて業間休みにキラキラチャレンジという、長縄やボール渡しなどを行ったり、キラキラ遊びといってドッヂやケイドロなどの遊びを、みんなで楽しく行なったりすることもあります。そして、お

昼休みのあとのそうじは、縦割りそうじといって、それぞれの縦割り班に分かれて教室や、運動場、ピロティなどを頑張って掃除しています。みんなでそうじをすることにより、楽しみながらそうじができ、 学校がきれいになるというように、いいことがたくさんあります。
　このように、神在小学校では、色々な方との交流をとても大事にしています。

③　まどの外には豊かな自然

　神在小学校は、たくさんの自然に囲まれています。遠足（神在ウォーク）でもとてもながめがよい、伊与部山などの自然豊かな場所に行くことができます。特に伊与部山は、標高 107m と比較的低く、地域のみなさんが整備をしてくださっているため、1 年生でも安心して登ることができます。伊与部山には神社もあり、お参りもできます。展望台が何箇所かあるため、色々な方向を見下ろす事もでき、地域学習にはもってこいです。六地蔵やおさんぎつねなどの伊与部山につたわる歴史などを地域の方から学ぶこともできます。「おさん狐」は絵本にもなっています。少しマイナーかもしれませんが、読んでみるとより伊与部山について知ることができると思います。伊与部山の他にも、神神社・水辺の楽校など、素敵な場所がたくさんあり，豊かな自然と歴史に囲まれて健やかに過ごすことができます。

④　活動後の「振り返り」
授業後の終わりや行事後には、自分の言葉で「振り返り」をきちんとしています。活動を通して、どんなことを思ったか、これからこうしてみたいとか、1 年生から 6 年生までいろいろな場面で発表しています。